

令和元年度第2回 三重県地域医療対策協議会	資料 1-1
令和元年11月11日	

**令和元年度 第2回三重県地域医療対策協議会  
医師派遣検討部会 協議結果**

日時：日時 令和元年10月23日（水）18時30分～20時30分  
場所：三重大学医学部附属病院外来棟4階 応接室1  
出席者：別添名簿のとおり  
内容：次の議題について検討を行った。

**1 医師少数スポットの設定について**

**(1) 論点1：三重大学医学部地域枠B推薦地域について**

**【意見の概要】**

地域枠B学生には、地元の推薦地域での勤務を指導しているため、それらと整合がとれるように設定していただきたい。

**【協議結果】**

地域枠B推薦地域を医師少数スポットの対象地域とすることについて合意を得た。

**(2) 論点2：推薦地域と推薦病院の所在が異なる地域について**

**【意見の概要】**

美杉村の患者が、一志病院を受診しているかを確認した上で判断する必要がある。

**【協議結果】**

**① 津市（旧美杉村）**

津市については、現在の推薦地域（旧美杉村）を医師少数スポットの対象地域とし、白山町については、旧美杉村在住患者の動向（県立一志病院へ受診しているか）を確認した上で検討することとなった。

⇒ 資料 1-3 参照

**② 松阪市（旧飯南病・飯高町）**

現在の推薦地域（旧飯南町・旧飯高町）を医師少数スポットの対象地域とすることについて合意を得た。

### **(3) 論点3：地域枠B推薦地域以外の地域について**

#### **【意見の概要】**

- 病院・診療所を含めた医師総数での議論となっているが、勤務医が不足していることや、地域に必要な、内科、外科、整形外科など、診療科の状況も勘案することもひとつではないか。
- 交通アクセスが良い地域は、公立・公的病院の再編の考え方を参考に、基幹病院・中核病院までの地理的条件を勘案してはどうか。
- 桑員地域の地域医療構想においては、いなべ市に基幹病院が必要であるが、内科医が非常に少ない状況である。診療科の事情を加味した医師少数スポットの設定について検討願いたい。
- 地域枠Aは、いなべ市出身や、菰野町出身、亀山市出身がいるので、スポット地域ができること自体は、地域枠Aの派遣がしやくすなる。

#### **【協議結果】**

論点3の検討地域について、平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査の結果及び意見をふまえ、設定を検討することとなった。

## 2 キャリア形成プログラムの改訂について

### ① 三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム（案）について

#### 【意見の概要】

- 非常勤のコースが最初から用意されていると、診療科を選択するときに、地域医療に何が必要なのかという本来の趣旨からズレた選択がされる可能性がある。家庭の事情などは大変重要であるので、それを聞いた上で非常勤を示すのは良いと思うが、最初から非常勤を示すのは問題。
- 非常勤を設定することで内科医の不足が加速する可能性がある。
- 診療科においては、サブスペシャリティの研修の際に、医師少数区域等の勤務が研修として成り立たない可能性があり、研修の際に特別連携施設を設定するなどの環境整備も必要ではないか。
- 診療科偏在や地域偏在を是正することを考えれば、特別連携施設など、専門研修、サブスペシャリティのロスにならないような、特別な措置を各診療科で講じていただいて、例えば、5年後には、どの診療科を選んでも、適正に義務が果たせるような形を診療科で考えていただきたい。
- 非常勤で4～5年行けば、三重県では認められるということは避けるようにしないといけない。すでに非常勤で行っている医師がいる。
- 地域枠Bの診療科の選択を見ていると専門診療科が多い。地域枠Bは総合診療的なものを求めており、そこにギャップが生じている。
- 地域から、どういう要請を受けているか、また、どういう支援をするとよいのかということ議論する必要がある。
- 非常勤を行う場合は、地域医療対策協議会でオーソライズして許可を受けることとしておいた方がよいと思われる。
- 内科系においては、医師を供給する側が足りない。
- このようなことは、我々が上から目線で決めても、理解してもらう側（地域枠医師）の意見も入れてやらないと続かない。地域枠の先生方には何回も説明しながら、意見をもう少し取り入れて動かさないと、派遣する側も不足しているので、その辺は工夫が必要であると思う。
- 医師の派遣は、派遣する人と派遣される人との信頼関係が重要である。
- どこの病院も医師不足である。もっと合意をつける必要がある。関連病院

の合意、大学の合意これが一つにならないと動かない。

- 今の研修医は不安に思っている。今後は地域枠医師は大学の専門研修プログラムに登録することとされているが、大学の入試要項には書かれていないようである。
- 医師少数区域への勤務が（途中で）4年になってしまうのではないかと不安を持っている。キャリア形成プログラムで決めたことが途中で覆ってしまわないように医師を守る必要がある。
- 地域枠の医師は、地域医療をやる必要があると思っている先生の方が多い。キャリア形成を守ってあげることを我々が考えるべきである。

#### 【まとめ】

- 三重県は全ての診療科において、医師が不足している。
- 地域においては、内科や総合診療の医師が求められている。
- 専門研修が進むと一般内科や総合診療科としての派遣が難しくなるが、医師3年目などであれば、一般内科医等としての勤務が可能ではないか。
- 非常勤のプログラムしか組めないマイナー科においては、短い期間（3カ月～6カ月）であったとしても、一般内科医等として、常勤での地域貢献を促してはどうか。  
（令和3年度以降は、これを進めてはどうか）
- 本人と地域との勤務先のマッチングが合わず、非常勤として地域貢献せざるを得ない場合は、地域医療対策協議会で協議してはどうか。

#### 【協議結果】

医師派遣検討部会の意見を踏まえた上で、本案を修正し、地域医療対策協議会で協議を行うこととなった。

## ② 医師不足地域の非常勤勤務の取扱いについて（案）

### 【意見の概要】

非常勤の4～5年は、あいまいなため、明確にしてほしい。

### 【協議結果】

週1回4～5年について、4年に統一する。

## ③地域枠B医師（松阪地区3病院推薦）の診療応援等の取扱いについて

### 【意見の概要】

- 多気町の推薦として、大台・多気町に地域貢献したいという思いから、大学の方針が示されたことにより、大台町に診療応援に行っている。診療応援に行くことで、先生方が医療以外の業務の時間を確保できたりしている。

午前中の内視鏡カメラの件数が、今まで3件だったものが4件出来たりするような変化がある。先生方とも相談しながら総合診療的な経験を積むことができ、豊かな経験を積ませていただいていると思っている。

給料の面で診療所に余裕が無く、派遣元病院からの研修という形で行かせてもらっているため、1日分の給料は派遣元から出してもらっている。

非常勤4年間を常勤1年として換算することについては、地域枠Bの観点からすると現実的ではないと思われる。地域枠Bは2年の勤務が必要であるので厳しい。

- 良い話をされたので、やっていただいたほうが良いと思う。  
非常勤勤務の議論をもとに、これを認めるかどうかについて、地域医療対策協議会で協議したい。

### 【協議結果】

本案の取扱いについて、地域医療対策協議会で協議を行う。

### 3 地域枠医師等のキャリア支援（派遣調整）について

#### ① 地域枠の県内勤務医コース（10年間）選択者の対応について（案）

##### 【協議結果】

地域枠で県内勤務医コース（10年間）選択者を対象として、9年間コースへの変更を認めることで合意を得た。

以上

## 令和元年度 第2回三重県地域医療対策協議会医師派遣検討部会 事項書

日時 令和元年10月23日(水)  
18時30分～  
場所 三重大学医学部附属病院  
外来棟4階 応接室1

- 1 医師少数スポットの設定について
- 2 キャリア形成プログラムの改訂について
- 3 地域枠医師等のキャリア支援(派遣調整)について
- 4 その他

- 資料1 医師少数スポットの設定について  
資料2-1 三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム(案)  
資料2-2 医師不足地域の非常勤勤務の取扱いについて(案)  
資料2-3 地域枠B医師(松阪地区3病院推薦)の診療応援等の取扱いについて  
資料3 地域枠医師等のキャリア支援(派遣調整)について
- 参考資料1 医師不足調査に関するまとめ  
参考資料2 専門研修施設の状況について  
参考資料3 キャリア形成プログラム運用指針  
参考資料4 三重県地域医療対策協議会 医師派遣検討部会運営要領  
参考資料5-1 従事要件等が課されている医師の専門研修プログラムにおける採用  
参考資料5-2 キャリア形成プログラム運用指針(抜粋)  
参考資料5-3 三重大学医学部地域枠制度で入学した者の初期臨床研修修了後の研修・勤務のあり方について  
参考資料5-4 三重県医師修学資金貸与者の勤務コースの内訳

三重県地域医療対策協議会 医師派遣検討部会 部会員（令和元年10月23日現在）

No	委員名	役職名	備考
1	駒田 美弘	三重大学学長	部会長
2	伊佐地 秀司	三重大学医学部附属病院 院長	
3	竹田 寛	桑名市総合医療センター 理事長	
4	新保 秀人	三重県立総合医療センター 院長	
5	森 拓也	鈴鹿中央総合病院 院長	
6	諸岡 芳人	済生会松阪総合病院 院長	欠席
7	楠田 司	伊勢赤十字病院 院長	
8	山本 憲彦	三重大学医学部附属病院臨床研修・キャリア支援部初期研修センター長	
9	岡本 隆二	三重大学医学部附属病院臨床研修・キャリア支援部専門研修センター長	
10	片山 直之	三重大学大学院医学系研究科 研究科長	
11	堀 浩樹	三重大学医学部 医学・看護学教育センター長	
12	島岡 要	三重大学医学部医学科 教務委員会委員長	
13	櫻井 洋至	NPO法人MMC卒後臨床研修センター 事務局長	
14	中村 康一	三重県医師会 常任理事	
15	齋藤 洋一	三重県医師会 理事	欠席
16	村林 謹一	三重県市長会 事務局長	
17	奥村 仁孝	三重県町村会 事務局長	
18	伊藤 正明	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座循環器・腎臓内科学分野教授	
19	(片山直之)	(三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座血液・腫瘍内科学分野 教授)	(再掲)
20	竹井 謙之	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座消化器・呼吸器・代謝内分泌内科学分野 教授	
21	冨本 秀和	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座神経病態内科学分野 教授	
22	湊藤 啓広	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座運動器外科・腫瘍集学治療学分野 教授	
23	楠 正人	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座消化管・小児外科学分野 教授	代理
24	(片山 直之)	(三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座家庭医療学分野 主任代理)	(再掲)
25	川口 瑛久	松阪市民病院 地域枠医師	
26	津村 奈津実	鈴鹿中央総合病院 地域枠医師	
27	田辺 正樹	三重県医療保健部 医療政策総括監	